NEDOエネルギー・地球環境分野成果報告会2026（分野名：バイオマス（エネルギーの森））
発表No.：j-13

団体名:(株)エコグリーンホールディングス、（国）東京大学、
（国研）森林研究・整備機構森林総合研究所、
(株)森のエネルギー研究所

発表日：2026年7月23日

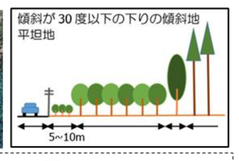
木質バイオマス燃料等の安定的・効率的な供給・利用システム構築支援事業／
新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）を開拓・利用可能とする“エネルギーの森”実証事業

ユーカリを活用した、社会共生を目指した持続可能なエネルギーの森づくり実証事業

事業の目的

ユーカリを活用した森づくりの知見を活かし、各地域の特性に即し、
共生し、持続性のある木質バイオマスの生産方法を確立すること

事業概要



1:林地・農地の一体管理
土地を集約化し、施業の効率化とエネ森の面積ポテンシャル拡大を取り組む

6:苗の生産・輸送体制の確立
高品質かつ安定した苗の生産と輸送
7:採種園の検証
国内生産体制の構築

8:成長量計測
資源量の調査・推計
連年成長量の調査と収量の推計

適地探索 → 用地確保 → 行政手続 → 育苗 用地整備 → 初回植林 → 下刈り 育林管理 → 高効率施業 → 萌芽更新 資源管理 → 木材利用へ

2:造林未済地の活用
伐採後に森林が再生していない森林のこと
4:植林コスト・身体負担の軽減

・事業全体
9:生育適地の検証
10:ユーカリ逸出の検証
11:根系特性・組織構造
12:病虫獣害の調査
13:海外視察

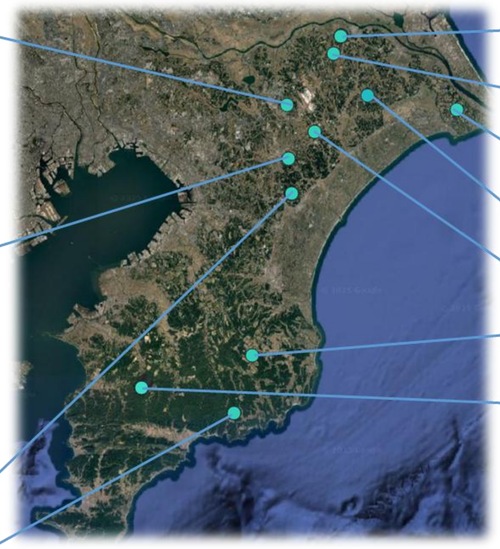
No	事業目標
①	生産コスト17,332円/絶幹tの達成
②	農地・林地一体造林を含む16ha以上の森づくり
③	10年伐期で150絶乾 t /haの原料生産
④	年1回以上の自治体との定例会の設置

5:下刈りコストの低減

3:効率的な伐採・集材システム

富里市：3現場3.1ha
山武市：**15**現場**28.3**ha

東金市：1現場3.4ha
勝浦市：1現場1.1ha



香取市：**2**現場**2.2**ha
成田市：1現場0.2ha
銚子市：1現場0.8ha
多古町：**1**現場**2.0**ha
芝山町：1現場1.2ha
大多喜町：1現場0.1ha
君津市：1現場4.5ha

出典：GoogleMap

実証地は11市町村合計46.9haに拡大

荒廃農地を活用し、
農地・林地を一体的に造林

ユーカリ挿し木試験

優良個体から国内での
採種園の造成を目指す

引張試験・根系調査

風倒への耐性など物理特性の明確化

植林用機器の開発

「資材運搬」
「植林負担軽減」
を兼ね備えた追従型
ロボットの開発を実施

逸出試験

林内に種子を直接散布し
自然繁殖の可能性を検証

3年生ユーカリ樹高データ

ユーカリ種	平均樹高（cm）	平均DBH（cm）	最大樹高（cm）	計測数（本/ha）	生存率
E. robusta	606	5.7	836	23	64%
E. saligna	**910**	**9.5**	**1,310**	28	62%
E. viminalis	723	6.9	990	25	60%
E. maidenii	758	7.0	1,090	19	37%
E. globulus	697	6.9	850	6	12%
E. macarthurii	506	7.4	950	23	52%
E. dunnii	647	5.6	1,020	24	51%
E. benthamii	**906**	**8.8**	**1,237**	34	**89%**
E. cordata				0	0%

最大樹高13m
有望品種を選定

今後

課題と今後の取組

ECO GREEN GROUP　NEWS RELEASE　EG Forest

2025年8月21日
株式会社エコグリーンホールディングス

**国内初!!早生樹（ユーカリ）を活用した「森林経営計画」が
農林水産省大臣から認定されました。**

ユーカリの森林が「間伐材等由来の木質バイオマス」区分で取り扱うことが可能に！
病害・災害木が多く現存する千葉県森林の再生、解決の一助となる

一方で

早生樹（新規樹種）への社会的認知・容認は未だ圧倒的に不足

◆ 山林所有者・行政の理解・承認プロセスの長期化
◆ （地域/市町村）森林整備計画の対象樹種ではないことによる補助制度の不足
◆ 山林の集約化が不十分であることによる事業の鈍化（従来からの課題）

本実証を通じて「エビデンスの強化」「密な自治体連携」「エネ森制度化」を図る

実用化・事業化の取組

グループ会社である「JRE神栖バイオマス発電所」へ販売し、FIT制度に基づき、「間伐材等由来の木質バイオマス」として販売した場合、以下の収益が見込まれる。
収益は10年伐期を想定し、2032年から発生する見込み

	販売単価	販売数	売上	製品原価	収益
2032年	24,800円/絶乾t	363絶乾t	9.0百万円	24,800円/絶乾t	6.9百万円
2033年	24,800円/絶乾t	1,210絶乾t	30.1百万円	24,800円/絶乾t	23.2百万円
～～					
2036年	24,800円/絶乾t	12,100絶乾t	300百万円	24,800円/絶乾t	288百万円

連絡先：株式会社エコグリーンホールディングス　杉島将太
MAIL： sugishima@eco-g.com　TEL: 03-3537-3240

ECO GREEN GROUP